GE Healthcare
Life Sciences

Hoefer ミニゲル電気泳動装置

SE 260 Mighty Small Mini-Vertical Units

簡易取扱説明書

このマニュアルはSE 260 Mighty Small Mini-Vertical Unitsのものです。
詳細な取り扱いに関しては英文マニュアルをご参照ください。
(本文中、読みやすいように英文マニュアルと異なる名称を使用している箇所があります)

注意！ ユーザーの皆様へ

製品を安全かつ有効にお使いいただくため、このマニュアル全体をお読みになり
ご理解いただくようお願い申し上げます。

製品内容、使用方法等につきましては、下記までご連絡ください。
製品の仕様は予告なしに変更する場合があります。

保証および責任について

保証と責任の範囲

本製品は、公表されている仕様に適合した検査済みのものであることを保証します。出荷時の状態を含めて、本製品に添付されている取扱説明書に従って取付けし、使用された場合に限り、本製品の保証を行います。
偶然の事故やそれに伴う損失については、一切の責任を負いません。また、本製品の誤った使用による損益や業務停滞などについても、一切の責任を負いません。

A. ゲルカセットの組み立て

1) 右図のようにノッチドアルミナプレートとスペーサー、ガラスプレートを重ねます。（以下、このセットをゲルカセットと呼びます）

（注）プレートのエッジに傷がないことを確認してください。

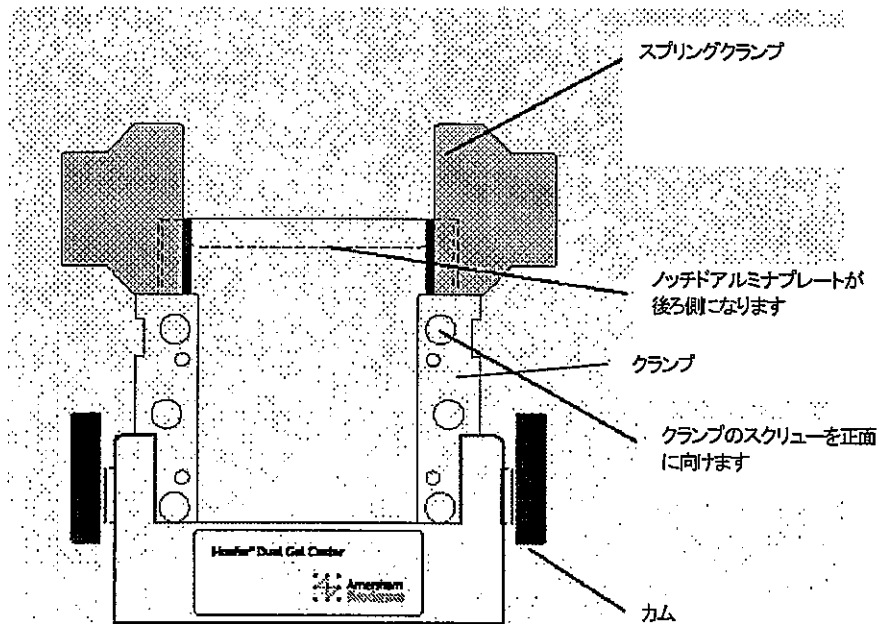
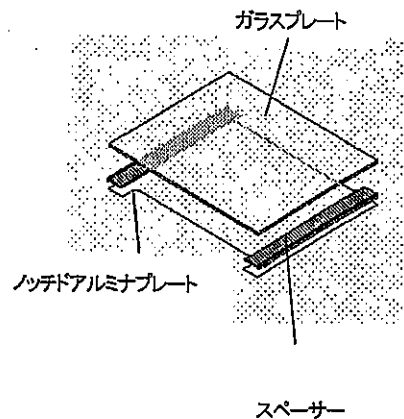
2) ゲルカセットをクランプの間に入れます。このときノッチドアルミナプレートがクランプのバックプレート側にくるようにしてください。

3) クランプごとゲルカセットをテーブルの上に立て、底辺をそろえます。そろえた後、クランプのスクリューを均等にしっかり締めます。

4) キャスティング台に、ガスケットを黒色の面を上にしてしきます。

5) ゲルカセットをスクリューのある面を正面に向けてキャスティング台におきます。

6) 柄の長い方を下に向けてカムをキャスティング台の両脇に差し込みます。

7) カムを互い違いに180° 回転させてゲルカセットをガスケットに密着させます。ゲルカセット上端両脇をスプリングクランプではさみます。

B. ゲル作成

1) ゲル溶液を準備します。
ゲル厚、枚数に応じ、ゲル溶液量を調整してください。

ゲル厚	分離ゲル	濃縮ゲル
0.75 mm	15 ml	3.35 ml
1.50 mm	30 ml	6.70 ml

2) 分離ゲル溶液をゲルカセットに流し込みます。
（注） ゲルカセット底部に汚れや傷があると液漏れしますので、あらかじめ確認してください。

3) n-ブタノール飽和溶液を静かに重層し、1時間以上重合します。

4) 濃縮ゲルバッファーで分離ゲル面を洗います。

5) 濃縮ゲル溶液を分離ゲルに重ねます。

6) 気泡をかまないよう、コームを差し込みます。

7) 1時間以上、重合します。

C. 泳動の準備

1) ゲルカセットからウェルを崩さないようにコームを抜き取ります。

2) 泳動バッファーでウェルを洗い、キャスティング台ごと逆さにしてバッファーを除きます。

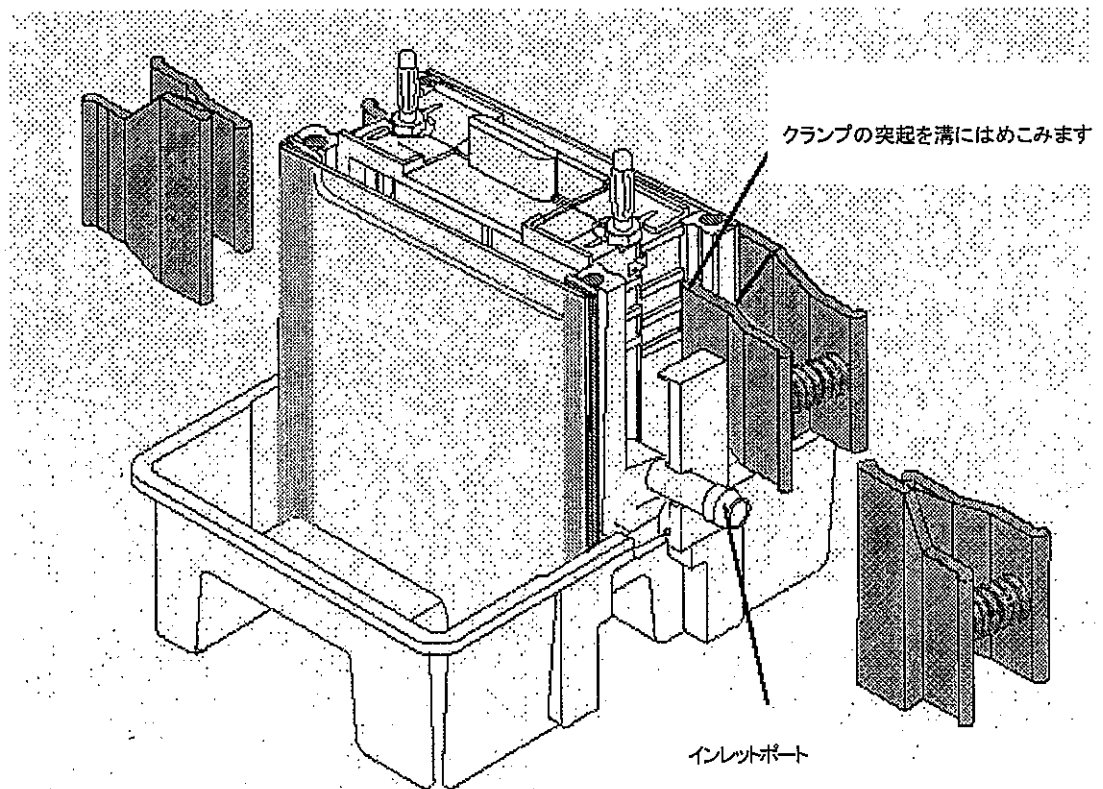
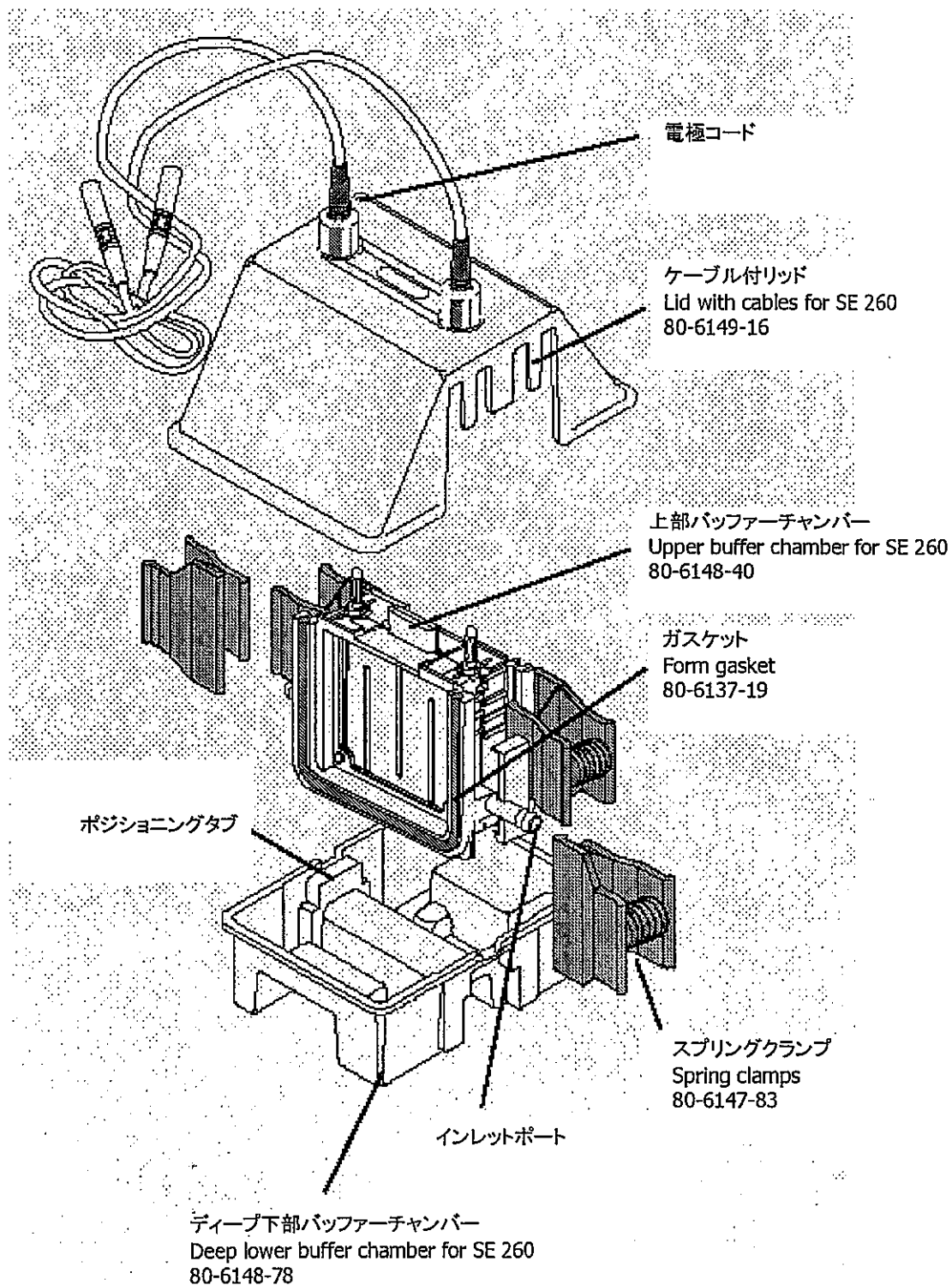
3) カムをキャスティング台から外し、クランプをゆるめます。

4) ゲルカセットを取り出し、付着している余分なゲルを取り除きます。

5) 上部バッファーチャンバーを下部バッファーチャンバー中央にセットします。

6) ノッチドアルミナプレート側を上部バッファーチャンバー側に向けてゲルカセットをセットし、両脇をスプリングクランプで固定します。
   (注) スプリングクランプの長辺側がガラスプレート側にきます。
   上部バッファーチャンバーのガスケットとノッチドアルミナプレートの接触部分に汚れや傷があるとバッファーが漏れるので注意してください。

7) 1枚のみの泳動の場合、使用しない泳動面にガラスプレートをゲルカセットと同様にセットしてください。

8) 冷却する際は、上部バッファーチャンバー両脇にあるインレットポートから冷却水を循環させてください。

■ SE 260の主なパーツ

D. サンプル添加

1) ウェルが見やすいように水でぬらしたウェルロケーティングプレートをガラスプレートに貼りつけます。

2) 上部バッファーチャンバーに泳動バッファーを満たします。(約75 ml)

3) サンプルを添加します。

サンプル量(μl) ; ウェル深 1 mm あたり

ウェル数	ゲル厚		
	0.75 mm	1.0 mm	1.5 mm
5	9.5	12.7	19.1
9		5.8	
10	3.6	4.8	7.2
15	2.2	2.9	4.4
18		2.9	

E. 泳動

1) 下部バッファーチャンバーに泳動バッファーを満たします。(約250 ml)
(注) 上部バッファーチャンバーの底に陽極側電極線が張られています。下部泳動バッファーに浸かっているかを確認してください。

2) リッドをかぶせ、電源コードを電源に接続します。

3) 泳動を開始します。
泳動条件: 20 mA/ゲル (Laemmliバッファー系の場合)

4) 色素がゲル下端にきたところで終了します。

F. 泳動終了

1) 電源を切り、リッドを外します。

2) 泳動ユニットを逆さにして、泳動バッファーを捨てます。
(注)泳動バッファーを満たしたままゲルカセットを外すとバッファーがあふれます。

3) スプリングクランプを外して、ゲルカセットを取り外します。

4) スペーサーを取り、プレートからゲルをはがします。

5) 各パーツは薄めた中性洗剤で洗浄後、蒸留水でリンスした後、乾燥します。